

クロマダラタマムシ

Nipponobuprestis querceti

兵庫県：C

環境省：—

種の概要

体長17～28mm程度。体色は黒銅色で強い金属光沢を備え、体表面に大小の黄白色の点刻を備える。平地から低山地にかけて生息し、幼虫はエノキの大木の枯死部などに穿孔し、成虫はエノキの葉を後食する。成虫は5月～8月にかけて見られる。



写真提供：北山健司

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、明石市、神河町、丹波篠山市、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
	○				○

特記事項

その後の調査では新たな生息地はなかった。社寺林などのエノキの大木への依存度が高いことから、生息環境が悪化している可能性がある。エノキ大木の枯死部に依存している。

保護上の留意点

エノキ古木の保全